2026 年末
第 4 回団交報告

JLUニュース

No 1101（18－12）
航空連 日本航空ユニオン
中央執行委員会
2026年 11月 12日

Tel：03-5756-8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

こだわりの諸要求を粘り強く追求

11 月９日 9:00～10:05、26 年末第４回目の団交を行いました。会社からは、大堀人財本部長、村田人財戦略部長、整備本部から総務部橋本部長、伊勢谷グループ長、人財戦略部メンバー含め 10 人、組合側は佐藤委員長を含めて９人が出席しました。以下、団交ダイジェストです。

灯油価格高騰　寒冷地で働く社員の負担を考えて

20 年前は 40 円/ℓ　今は？

- 直近の灯油価格：1ℓあたり 160 円
- 月 300 リットル使用で約 4 万 8,000 円
- 家族世帯では月 400ℓ近く使うケースも
- 単身赴任でも月 200 リットル、
  約 3 万 2,000 円
- オール電化だと灯油より高い場合も



会社の説明は...

- ◆ 支店整備手当で、地域ごとの負担をある程度カバーしている
- ◆ 物価上昇にはベースアップで対応している
- ◆ 北海道・東北以外にも、それぞれの地域に課題がある

灯油価格に連動した手当、または転勤5年を支える追加手当が必要!

年に1回の健康診断の日くらい、作業に配慮を



健康診断後、体調が悪ければ申し出るようにと言われても、人員に余裕のない現場では、すぐに代わりの要員を確保できません。組合は、下剤の服用による体調への影響を考慮し、健診当日は現場作業を外せるよう計画すること、少なくとも受診時期を比較的涼しい時期に変更することを要請しました。

会社からは、関係部署と連携し、受診時期の調整など、いくつかの方法を検討しているとの説明がありました。一方で、約 200 人が毎月受診し、夏場には約 600 人に上ることから、他社との調整が難しく、生産への影響も考慮しながら調整を進めているとのことでした。

最後の団交まで　私たちの声を聞いて変化を見せてほしい

■70 歳以降でも働ける人はいる。選択肢はないのか

70 歳以降も働いてもいいという人もいる。JALEC には経験や技術を持つ人材に引き続き活躍してもらえる仕組みを検討してほしい。



70 歳以降の雇用を希望する声は認識しているが、現時点ですぐに実施できるとは回答できない。経験者の活用と若い世代の育成の両面から、引き続き検討していきたい。

■退職金積立期間を 60 歳までに

定年が 60 歳であるにもかかわらず、退職金の積立てが 55 歳で終了するのはおかしい。60 歳まで積み立てることを検討してほしい。



55 歳以降の積立てがないことで、長く働くことへのインセンティブが薄れている点は問題と認識している。ただし、退職金制度は定年や雇用延長とセットで考える必要があり、採用状況の変化なども踏まえて、制度全体を検討していきたい。

■転勤時の下見に配慮を

転勤は本人だけでなく家族の生活も大きく変わる、家族も含めた下見への配慮が必要。下見のための休暇や、家族が同行する場合の取り扱いも検討してほしい。



下見に必要な交通費は会社が負担しているが、下見のための特別休暇は設けていない。社宅などの物件については、位置や周辺の状況が分かる情報を提示している。事前情報を確認して転勤に対応してほしい。

■特定目的積立制度　病院にいかなくても回復する持病なら証明証不要にしてほしい



特定目的積立休暇は、通常の年休とは異なり、定められた取得目的に沿った証明が必要。現在は、病院にかかるなどの傷病を対象としており、病院に行かずに回復する場合まで取得を認めることは、現時点では考えていない。制度の運用をどこまで拡充できるか、引き続き社内で議論していく。

詳細は WEB で
組合員専用ページで限定公開

パスワード等お問い合わせは
公式 LINE から

【日本航空ユニオンニュース　1101(18－12)号】